

友穂

FRIEND OF SPORTS

友穂(ゆうぼく)～仲の良い友の意

宮崎書

札幌市スポーツ推進委員会広報誌 Vol.112

特集
キンボール

活動紹介
手稲区スポーツ・レクリエーション祭 (手稲区)





特集 キンボール



「キンボール (KIN-BALL)」は、1986年にカナダのマリオ・ドゥマースによって生み出された屋内球技で、ボールを飛ばし (ヒット)、それを受け止める (レシーブ) ということを繰り返して、得点を競うゲームです。正式な競技名称は「キンボールスポーツ」。

キンボールの「キン (KIN)」は英語の「キネシシス (kinesthesia)」の略で「運動感覚」という意味があります。

「ピンク・グレー・ブラック」



キンボールは、ピンク、グレー、ブラックの3チームで競い合うゲームで、チームカラーのゼッケンを着用した4人で1チームを構成します。

また、各チーム8人まで交代要員を用意することができます (1チーム最大12人構成)。

「122cm・1kg」

キンボールで最も特徴的なのは、直径122cm、重さ1kgという大きなボールを使用する点です。

ゲームは、この大きなボールを3人が支え、他のチームの色を声に出して指定 (コール) して、残りの1人がボールをヒット。そのボールをコールされたチームがレシーブするということを繰り返して進みます。

コートサイズは、最大21m×21m、最少13m×16mです。

通常は、7分または10分を1ピリオドとして3ピリオドを戦います。



「OMNIKIN (オムニキン) !!」



ボールをヒットする場合は、誰か1人が必ず「オムニキン」と言い、続いてレシーブする「チームの色」を大きな声でコールしてからヒット (腰より上、手や腕などでボールを打撃)。

ヒットの瞬間は4人全員がボールに触れてなければならないのですが「オムニキン」は誰が言っても良く「色」も別人がコールしても良い。

ちなみに「オムニキン (OMNIKIN)」という言葉は「すべての」という意味の「omnipresent」という英単語と「KIN」を合わせた言葉です。

得点

ヒットまたはレシーブを失敗した場合は、失敗したチーム以外の2チームに1点ずつが加算されます。このほか、メンバー全員がボールに触れていないままヒットした場合やレシーブの瞬間にコートの外に両足が出ていた場合など、反則があった場合も同様に加算されます。



友彦編集委員もキンボールに挑戦しました

今回の取材では、札幌キンボールスポーツ協会の協力により、編集委員もキンボールサークルの練習に参加しました。

まず最初に、予想以上に大きなボールに圧倒されながら、ルールの説明を聞きました。相手をコールしてヒット、コールされたチームがボールをキャッチ。ルールはいたってシンプル。

「これなら簡単!!」と練習しているチームの中に編集委員も一人ずつ入れてもらい、早速ゲームに参加しました。

相手のコールに耳を立て、得点板とボールの行方の両方を見ながら、手や足など、体の全部を使って全員でレシーブします。制限時間いっぱいまで動き回り、予想どおり最後は「へとへと」に (笑)。

一つのボールを4人で支え合ううちに自然と一体感が生まれてきます。老若男女、それぞれの体力に合わせて楽しめ、特別な道具は何もいないという極めて手軽な競技ですが、実はスピードと戦略性に富んだ奥の深いスポーツで、その魅力を知ることができました。



キンボールの魅力について聞きました!!

今回、キンボールの指導をしていただいた札幌キンボールスポーツ協会会長林さんにその魅力について聞いてみました。

「キンボールの魅力は『簡単なのに奥深い』ことです。ルールが簡単で、小学生でもすぐ覚えてプレーを楽しめます。ボールは巨大でバランスをとるのが少し難しいですが、意外とすぐ慣れてしまいます。ハイレベルになるとセットプレーや移動攻撃等のチームプレーが重要となりますし、スピードやパワーも必要ですので、本格競技スポーツとも言えます。大変魅力的なスポーツですので、ぜひ体験してみてください!お手伝いいたします!」



札幌キンボールスポーツ協会
会長 林 健哉さん

キンボールを体験するには

【キンボールの一般開放を行っている施設】

市内の体育施設等でキンボールの一般開放を行っており、キンボールを体験することができます。なお、実施日時は、施設によって異なりますので、各施設にお問い合わせください。

- 豊平区体育館 TEL:011-855-0791
- 中島体育センター TEL:011-530-5906
- 菊水元町地区センター TEL:011-872-7600

【キンボール指導者の派遣】

札幌キンボールスポーツ協会では、キンボールの体験会を希望する町内会や学校、企業等に対して、キンボール指導者を派遣しています。派遣を希望される場合は、直接、協会にご相談ください。

- 札幌キンボールスポーツ協会 TEL:090-3398-0469 [林]/E-mail: sapporo.kinball.sports@gmail.com



お知らせ

今年の9月に、キンボールの全国大会である「第15回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ」が初めて札幌で開催されます。

全国レベルのキンボールの試合が見ることができる貴重な機会ですので、ぜひ会場に足を運びキンボールの魅力に触れてください。

開催日:平成26年9月20日(土)、21日(日)/会場:北海道立総合体育センター(北海きたえーる)



手稲区スポーツ推進委員会の活動紹介

手稲区スポーツ推進委員会では、年間を通してさまざまな活動を行っています。
今回は「手稲区スポーツ・レクリエーション祭」をご紹介します。

注目!

手稲区スポーツ・レクリエーション祭

これは、生涯スポーツ社会を実現することを目的として、手稲区や手稲区スポーツ推進委員会などが中心となる実行委員会が毎年開催しているものです。

会場となる手稲区体育館では、スポーツチャンバラ、ストラックアウト、バスケットシュートなど、大人から子供まで手軽に参加できる 14 種類の競技が楽しめ、第 10 回目の節目となった昨秋のスポレク祭には 670 人の区民が参加しました。

子どもたちは、汗をかきながら各コーナーを回り、いくつもの競技をハシゴをして楽しんでいました。お昼には親子連れや友達同士で弁当を広げる姿も見られ、今では手稲区の秋の行事としてすっかり定着しました。



アイスホッケー体験



バスケットシュート



体力測定



フロアカーリング



ピンポンバッティング



キックターゲット

●手稲山ウォーキング 7月

●ていね雪の祭典～雪っていいねていね 2月



各区のスポーツ情報が満載

札幌市スポーツ部ホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/sports/>

札幌市スポーツ推進委員会ホームページ

<http://www.sapporo-sposhin.jp/>

編集後記

今回特集しました「キンボール」は、誰でも手軽にできるスポーツですが、意外と体力を使い、チームワークと作戦が重要なポイントとなるゲームということがわかっていただけたでしょうか。

特に 1 kg のゴムボールは一見柔らかそうなのですが、ヒットやレシーブをする時、足で蹴る時などの衝撃は意外と強いので、けがに注意をしながら楽しんでいただきたいと思います。

今回、取材するまで知らなかったのですが、毎年全国大会も開催されており、すでに 15 回目になるとのこと。しかも、今年は札幌で開催されることから、仲間を誘ってぜひ見に行きたいものです。